

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	2	自発の環境は玩具等が多くなるが、使用しない場合はテラスへ出す等環境整備に努めています。こども同士が近づき過ぎる時は職員が近くへいき、怪我などないよう配慮しています。利用者さんの発作等がみられた場合は観察しやすい場所に移動する等配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	6	2	自発の利用者さんは体調変化が大きいいため、利用人数に差が出る日もあります。定数一杯の日は時間帯により様々なサービスを実施している為、職員同士声を掛け合って協力しています。また、環境整備や必要物品を整えながら安全に活動出来るよう工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5		自発の利用者様は、医療的ケアがあるが現在、運動機能面でトイレ排泄が可能な利用者様もいます。個性を考慮しながら、早めのトイレ誘導を行っています。
	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画	4	5	2	
業務改善	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	4		
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	2	現在は行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	2		月一回勉強会を行っています。実践に必要な研修内容をタイムリーに行えていなかった時期もありました。今後は、新人さん入職時期に適切な研修が出来るように研修内容を変更しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	1		
適切な	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	3	コンサルテーションを受けている先生に教えて頂いたツールを用いて、評価しています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの	8	3		

は 支 援 の 提 供	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	2	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	5	様々な経験が出来るように保育士を中心に活動内容を検討しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	3	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	5	時間帯によって忙しい時間帯があり、職員同士十分に打ち合わせが出来ない場合もありますが、活動開始時に職員で役割を確認しあっています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	3
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	5	2
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	3	
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10		
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	3	
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	2	

護者との連携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	3	他の児童発達支援事業所との連携は実施しているが、研修などの機会はなかった。開催される場合は積極的に参加出来るようにしていきたいと考えています。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	7	今年度は保育所等と交流する事が出来なかったが、来年度は計画が立って話し合いをもっているため実施していきます。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		7	4	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	4		十分に出来ていないと感じている職員もいるようなのでミーティングや朝の会でもさらに子どもの状況などの共通理解を深められるように話し合っていきます。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	4	4	
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1		実費でかかる料金については早期に説明する配慮をしています。
保護者への説明責任等	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11			
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		1	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	1	
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	1		
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1		家族にコミュニケーション方法を確認しながら、小さな表情の違いにも注視するようにしています。
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	5	今後の課題です。	

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	3	1	今後は地震や火災を想定しての訓練を多く実施していくように活動内容に盛り込んでいきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	3	3	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	2		利用者さんの医療情報はご家族に記載して頂いています。又、てんかん発作についてもご家族や病院からの情報を頂き職員同士で共有しています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	11			アレルギーがある利用者を把握しエピペンの所持確認しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11			

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。